



横浜銀行

CONCORDIA
コンコルディア・フィナンシャルグループ

2024年9月10日

横浜銀行におけるサステナビリティ戦略について

横浜銀行
営業戦略部



1. サステナビリティ分野のこれまでの取り組み

- **お客さまの事業継続や雇用継続の観点**から、サステナビリティ領域への支援に向けて、SDGsの啓蒙を目的とした「SDGsフレンズローン」を2019年に導入、2021年には国際原則に適合する「サステナビリティ・リンクローン」等の取り扱いを開始するなど、企業の取り組みステップに対応して**サステナブルファイナンスのラインアップを拡充**してきた。
- ソリューション領域では、企業の脱炭素経営支援に向けて**GHG排出量算定ビジネス**を整備。エンゲージメントは**事業性評価**を軸に取り組み、また他行と連携して同領域の高度化も図り、地域脱炭素に向けた活動を促している。

	2019年度～ 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～現在
	SDGs啓蒙	ファイナンス強化	ソリューション構築	脱炭素本格化
ファイナンス	SDGsフレンズ・ローン	サステナビリティ・リンクローン グリーン・ローン ソーシャル・ローン ポジティブ・インパクト・ファイナンス	2022/8 フレンズローン・ネクスト	2024/8 中小自動車サプライヤー向け トランジション・サポートローン
ソリューション		GHG排出量可視化 実証実験(POC) 浜銀総研 CO2無料算定	GHG排出量可視化 ビジマへ拡大 脱炭素分野の専門家拡充 脱炭素事業性評価 SDGs事業性評価 (SDGs・ESG要素追加)	浜銀総研 GHG排出量算定支援
本部体制			サステナ委員会事務局設置 (総合企画部内)	MEJARサステナビリティ ソリューション連携
他行連携			サステナ推進室設置 (ソリューション営業部内)	地銀自動車広域連携 (通称：AIWAP7)

2. エンゲージメント戦略

- 横浜銀行において、法人のお客さまについてはエンゲージメント戦略に基づき、脱炭素経営の重要性について、対話を実施している。

セクター	担い手	役割・方向性	2023年度	2024年度
GHG排出量削減の 目標設定セクター 電力 石炭 石油ガス	● 本部分行員 (営業店連携)	削減目標設定	各社状況調査 本部中心にアプローチ	取組中 FE排出量上位先へ訪問
自動車・部品 エンゲージメント 重点セクター 金属・鋳業	● 営業店行員 (本部支援含む)	可視化・削減 計画策定支援 削減計画把握 排出量可視化	脱炭素事業性評価重点実施 (継続) 脱炭素経営フェーズ把握 2回目ヒアリング GHG排出量の可視化支援強化	取組中 脱炭素事業性評価の重点実施 脱炭素経営フェーズを把握
全セクター (上記以外)	● 営業店行員	対話 排出量可視化		上場・コア先やメイン・準メイン先など優先順位をつけてヒアリング



【エンゲージメント強化】
脱炭素課題を抱えるお客さまを把握

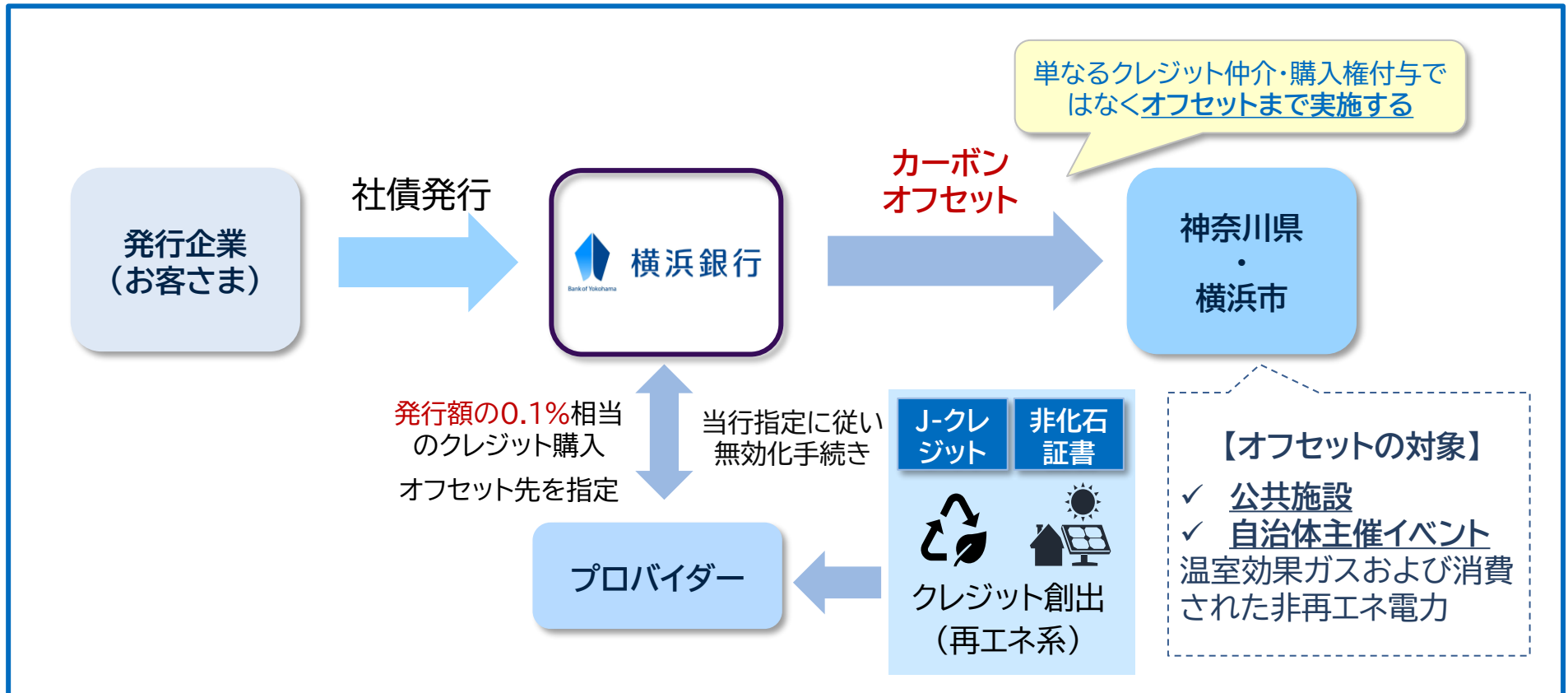
【ソリューション提供力向上】
GHG排出量算定の取り組み、削減計画策定支援、サステナブルファイナンスによる支援

【削減メニュー・カーボンオフセット】
削減ビジマに加え、排出権クレジット制度および非化石証書を活用したソリューション支援

3. カーボンオフセット私募債

- 地域社会へのカーボンクレジットの浸透をはかる目的で、2023年4月より「カーボンオフセット型私募債」の取り扱いを開始。**オフセットを前面に打ち出した私募債は全国初**の取り組み。
- 発行企業（お客さま）は、自社でクレジット購入や無効化等の手続きをする負担なく、地域のカーボンオフセットに貢献し、体験を積むためのドアノック商品。将来のカーボンプライシングに向けて、啓蒙的な位置付けとして商品化した。

「〈はまぎん〉カーボンオフセット型私募債～横浜ゼロ～」のスキーム

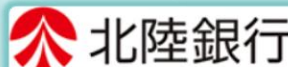


4. MEJARサステナビリティ・ソリューション連携

- 2022年11月に開始した「MEJARサステナビリティソリューション連携」では、カーボンオフセット型私募債の開発、共同セミナー開催、広域アンケートの実施など、様々な連携施策をアウトプットしている状況。
- 引き続き、GHG排出量測定から行員教育に向けたサステナリテラシー施策など、サステナビリティ領域の高度化をはかっていく。



MEJARサステナビリティ
ソリューション連携



連携の概要、目標

- ◆ 営業基盤が異なる6つの地域金融機関が連携し、お互いの経営資源やノウハウを有効活用するため、2022年11月に開始
- ◆ お客さまに最適なサービス、ソリューションを提供するための[連携施策を立案・推進](#)し、[地域社会の持続的な発展](#)につなげる

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
2022.11	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4
札幌	仙台	富山	広島	横浜	書面	仙台

これまでの主な取り組み

- プロダクト**
 - カーボンオフセット型私募債の取り扱い開始（2023.4～）
- セミナー**
 - 「[脱炭素経営セミナー](#)」（2023.5）を共同開催
- アンケート**
 - 地域企業の脱炭素への取り組みなどを把握するため、[共同アンケート](#)を実施し、2024年1月に結果を公表
 - 今後も継続して実施予定



今後の方向性

- GHG 排出量測定**
 - ✓ お客さま向けの[GHG排出量測定プラットフォーム](#)、銀行内での[FE算定サービス](#)などについて、知見を共有する
- プロダクト**
 - ✓ 「[Jクレジット創出](#)」に向けた取組など、様々なノウハウを共有しつつ、サステナビリティ関連ソリューションを深化させていく
- ノウハウ共有**
 - ✓ 共同でのトレーニー研修を実施するなど、6行のノウハウ共有を進めていく

5. 自動車業界支援の方向性（他行・他社連携）

- 自動車業界支援について、地銀自動車連携（通称「AIWAP7」：以下、同連携）および、神奈川県自動車部品サプライヤー連絡協議会（以下、同協議会）に賛同し、課題解決へ向けた情報連携を実施している。
- 同連携は**共同セミナーを起点とした広域M&Aなどの促進**、同協議会および神奈川県産業振興センターとは**中堅・中小向けトランジション・ファイナンススキームの構築**を踏まえ、エンゲージメント重点セクターでもある自動車業界への連携支援を加速していく。



地銀自動車連携
(AIWAP7)

広島銀行

足利銀行

群馬銀行

静岡銀行

横浜銀行

山形銀行

名古屋銀行



神奈川県自動車部品
サプライヤー連絡協議会

中小サプライヤー

Tier1、Tier 2

神奈川県

公益財団法人
神奈川産業振興センター

地方独立行政法人
KISTEC 神奈川県立産業技術総合研究所

オブザーバー 日産自動車

今後の方向性



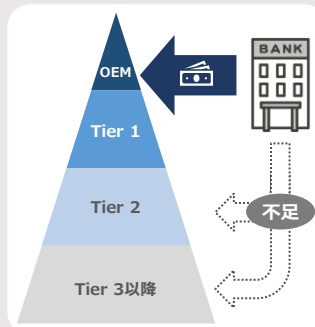
お取引先向けの7行共同セミナーの開催



- 同連携の共同企画として、自動車関連の**お客さま向けのセミナー**を検討
- EV化対応の潮流などに関する情報提供とともに、**お客さま間の交流につなげ**、あわせて「**AIWAP7**」自体の周知も企画
- 共同セミナーの開催を起点として、同連携の強みを生かした**広域でのM&A、事業承継の促進**を目指す



中堅・中小向けトランジション・ファイナンス・スキーム



- 自動車セクターは、GHG多排出産業であり、EV化やCNへ向けた移行（トランジション）が必要
- 一方で、**特に中堅・中小サプライヤーは**、トランジションへ向けた資金需要（**トランジション・ファイナンス**）の潜在化ニーズあり
- 中堅・中小自動車サプライヤー向けのスキーム構築**を実施

【参考】中堅・中小向けトランジション支援スキームの構築

- 中堅および中小向けトランジション支援として、アドバイスからファイナンスまで一貫したスキームを構築した。
- 神奈川産業振興センターと連携し、トランジション対応（EV化やCN、CASEなど）における技術面の知見やアドバイスを活用、県内中堅および中小自動車部品サプライヤー企業の持続的な成長支援につなげていく。

